

こもれび・komorebi・木もれ日

木もれ日

総合建設
株式会社 日向建設 ひゅうが せつ
〒247-0061 神奈川県鎌倉市 1-10-4
http://hyuuga.co.jp どこまでが夢ですか
TEL 0467 (47) 5454 FAX 0467 (44) 0303

今月の
特集!



いつ起こるかかわからない 大地震 ……
不安にならず、安心して暮らすには?

～『本格的 耐震補強工事』がしたい!～

だまされないで…! 意味のない耐震工事?

右の2枚の写真を見てください。この写真は、ある業者が実際に「耐震補強工事」を行なった様子です。これを見て皆さんはどう思いますか?
結論から言いますとこの工事は、全く意味のない耐震補強工事です!
きっと多くの方は、一体どこがおかしいのか、わからないのではないのでしょうか?

(A)の写真を見てください。基礎と土台を金物で補強してあります。しかし、いくら基礎と土台を繋いでも意味がないのです。肝心の柱と土台を繋げる補強をしなければ、地震の揺れで柱が抜けて家が倒れる危険があり、安心できません。
(B)の工事はする必要のないものです。建築当初にきちんと「火打ち」という補強がされていて、しっかり役目を果たしています。必要な場所に、きちんとした「耐震補強」をしなければ意味がないのです。無駄な補強で、無駄なお金を使わないようにしましょう。騙されてはいけません!

日向建設では、こうした現場を見たり聞いたりするたび、同じ「家づくり」にかかわる業者としてあってはならないことだと、憤りを感じます。

家の老朽化や地震などで、もしも家が傾いたり崩壊したらどうしよう?と不安な方もいることでしょう。安心して暮らすために耐震補強工事が必要なのです。地震の時に役に立つ耐震補強工事とはどのような工事か、皆さんもぜひ知っておいて欲しいと思います。①『基礎』と『柱』を緊結すること。②『壁』を強くすること。③家全体のバランスを考慮すること。この3点が重要なポイントになります。

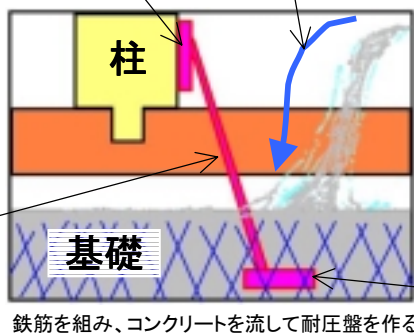
「耐震補強」って どんなことをするのですか?

① 基礎と柱を緊結する



最後に、コンクリートをいれるので、全てが基礎の中に埋まって、強固に結びつく。

ホールダウン金物で、柱にしっかり固定する。



耐震Jケーブル(アンカーボルト)

鉄筋を組み、コンクリートを流して耐圧盤を作る

左の写真とイラストを見て下さい。基礎と柱を緊結している様子が、よく分かると思います。

基礎は、鉄筋を組んであります。『耐震Jケーブル』というアンカーボルトを使用し、この一方を『ホールダウン金物』で柱にしっかりと固定します。もう一方は鉄筋(耐圧盤)の中に絡めて、埋め込みます。

最後にその鉄筋の上にコンクリートを流し込みます。こうして基礎と柱が、しっかりと緊結されるのです。

もし、地震で建物が揺れた時でも、基礎と柱がしっかりと結びついているので、柱が抜ける危険が低いので安心です。

鉄筋の中にしっかり絡めて、固定する。



基礎と土台をつないでいます。柱は繋いでいません。

もし地震が来たら、基礎から柱が抜けて、家が傾いてしまう危険があります!



手前に土台の火打ちが入っているのに、奥に金物を入れています。

無駄な補強です! 高価な金具を使用する意味がありません。

② 壁を強くすること



▲壁の中の『筋違い』を補強しました。(あとから筋違いを入れた様子)

基礎と柱をしっかり緊結したら、さらに『壁』を強くすることが大事です。具体的に言うと、壁の中に入っている『筋違い』が重要になります。

窓が多くて壁の量の少ない建物や筋違いの入っていない壁の家は、地震などの揺れがあると、壁が家の重さに耐え兼ねてバランスを崩し、崩壊する恐れがあります。それを防ぐためには、筋違いをしっかり入れて、筋違いを金物でしっかりと止めることです。この工事で、耐震補強ができるのです。

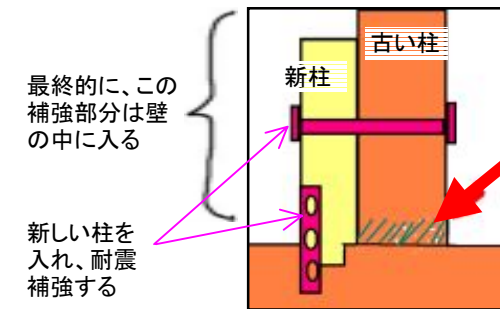


▲筋違いを耐震用の金物でしっかり止めています。揺れに強い壁になります。

プラスαで安心な家 それぞれの家にあわせた耐震補強工事

昭和初期に建てられた古いお宅から、「耐震補強するより、建替えたほうがいいでしょうか?」というご相談を受けることがあります。

実際に拝見してみると、柱や土台が腐っていたりする場合がありますが、ひとつひとつの主要構造物は何の問題もなく、これから先も充分使えるものが多い、という家がほとんどです。そのような場合は、腐っている部分を取り替えて耐震補強をします。それぞれの家の実情にあわせた耐震補強工事が可能です。



最終的に、この補強部分は壁の中に入る

新しい柱を入れ、耐震補強する

例えば、もともとあった柱が腐っている場合などは、隣に新しい柱を足して補強する



▲腐っている土台の入れ替えと腐った柱の取り替えをしました。



▲土台を取り替え、柱を補強をした所。

2004年春の流行色は?



毎年、パリの「国際流行色委員会(インターカラー)」で決められるという流行色。テレビや雑誌などでは、ピンク・ベージュ・グリーンなどが『今年の流行色』として取り上げられているようです。

今年の春夏は、「明るく、キレイな、爽やかな、軽やかな」カラーと、『アテネ夏季オリンピック』に触発された、「活動的、躍動的な」イメージのカラーが主だそうです。

★お洒落を楽しむ若々しい心を忘れず
いつまでも生き生き過ごしたいものですね!

椿亭

鎌倉市手広1388-21
TEL 0467-32-4632
(手広の交差点すぐ近く、P有)



テーブルで焼くお肉がとっても美味しいお店! カナディアン・ログハウス風の平屋建ての店内。夜になると篝火(かがりび)台に本物の火が焚かれているのも、風情があります。焼肉が食べたくになったら、決まってこのお店に行っています!



編集後記

今月は、耐震補強について特集しました。いろいろお宅を訪問して驚くのは、無意味な金物が実に多く取付けられているという事です。今回取上げた写真(A)(B)によく表されていますね。金物という硬いものからくる安心感なのでしょうか? いかにも補強の効果があるように見えるのが不思議です。お金をかけたという満足感かもしれません。

いつ起きても不思議ではないといわれている東海地震。発生するかもという不安を感じながら生活するよりも、地震防災対策を考え、被害を最小限に食い止めるために耐震補強工事を積極的に取り入れたいものです。